

大会名『 第10回春季西胆振中学校バドミントン大会 』 参加細則

1 全般的事項

- ① サービス高を1.15mに固定するルールを適用する。ポストにコート面から1.15m高さのところにテープでマークを付け、そのマークを基準にコート面から1.15mの高さのところに水平面をイメージし、判定をする。
- ② 試合進行はできるだけタイムテーブルにそって進めるが、時間短縮のため流し込み方式で進める。試合開始時間・コートの変更がありえるので放送に注意すること。
- ③ 試合が連続する場合は、前の試合の後、10分間を確保して次の試合を開始する。
- ④ 入場について、番号の若い方プログラムで上に記載されている方が主審の左側に入ること。
- ⑤ 競技の服装は審査合格品とする。また、北海道中学校バドミントン大会（中体連全道大会）に準じて、その大会要項に掲載されているゼッケンをつけ、四隅を留めることとする（背面表示がある上衣は、ゼッケンで全て覆い隠すこと）。なお、ウェアからはみ出すタイプのインナー等についても審査合格品とする。
- ⑥ ウェア上衣の裾は、マナーとして下衣に入れること（特に入退場や挨拶時、インターバル時）。
- ⑦ 試合中の水分補給は、基本的に主審が汗ふきタイムを認めたときに、試合進行に影響が出ないように素早く済ませること。ただし、飲み物はスクイズボトルやペットボトルなどに入れること。
- ⑧ 今大会はカゴを用意しません。交換用ラケット（ケースから出しておく）、タオル、スクイズボトル、滑り止めなどはまとめてバッグに入れ、コートサイド（主審側に置くこと。また、衣類などその他の物はコーチングシートで保管すること。氷のうは、保冷バッグに入れてコーチングシートで保管すること。
- ⑨ フロア内での飲食や、ハードタイプのクーラーボックスの持ち込みは禁止します。
- ⑩ 審判員の判定に対して疑問があるときは、個人戦の場合は当該プレーヤー、団体戦の場合は当該プレーヤー、または監督が質問できる。（大会運営規程第6章第36条）
- ⑪ 原則として敗者責任制で主審を行うことになるので、試合終了後、その試合に負けた選手は直ちに本部席進行係まで来てください。また、線審は対戦校から1名ずつ担当をお願いします。
- ⑫ フラッシュや、ライトを点灯させての撮影、および、競技フロア内での撮影は禁止します。
- ⑬ 「レフェリー競技役員長から競技審判上の確認と連絡」のページを熟読すること。

2 個人戦に関する事項

- ① コーチングシートに入れるのは、引率教員、外部指導者（コーチ）とする。また、インターバル時のサイドコーチは、そのうち2名以内とする
- ② 今大会は、コーチングシートを2席設置する。ゲームおよびマッチ終了後、使用者が消毒を行う。
- ③ 個人戦のマッチ前練習は行わず、主審の指示で速やかに試合を開始すること。